

様式2 (指導に関する記録)

生徒氏名		学校名			区分	学年	1	2	3
宮崎 太郎		宮崎市立〇〇中学校			学級		3	2	1
					整理番号		15	12	14

各教科の学習の記録																				
教科	観点	学年			1	2	3	教科	観点	学年			1	2	3					
国語	知識・技能		B	B	A				知識・技能											
	思考・判断・表現		B	A	A				思考・判断・表現											
	主体的に学習に取り組む態度		B	A	A				主体的に学習に取り組む態度											
	評定		3	4	5				評定											
社会	知識	【観点別学習状況】 各教科の目標に照らし、その実現状況を観点ごとに評価し記入する。その際、「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCのように区別して評価を記入する。			【評定】 必修教科の評定は、中学校学習指導要領等に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を「十分満足できるものうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを5、「十分満足できる」状況と判断されるものを4、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを3、「努力を要する」状況と判断されるものを2、「一層努力を要する」状況と判断されるものを1のように区分して評価を記入する。			特別の教科道徳 学習状況及び道徳性に係る成長の様子			学年	【特別の教科道徳】 学習活動における生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を個人内評価として文章で端的に記述する。								
	思考										1				(例) 問題となる場面において自分が取り得る行動を、友だちの意見も参考にしながら、様々な視点から考えようとしていた。					
	主体										2							(例) 教材の登場人物に自分を置き換えて考えることで、これまでの行動を振り返りながら、自分なりの考えをもつことができるようになってきている。		
	評定										3									
数学	知識							総合的な学習の時間の記録												
	思考							学年	学習活動	観点	評価									
	主体							1												
	評定							【総合的な学習の時間】 学習活動及び各学校が自ら定めた評価の観点を記入した上で、それらの観点のうち、児童の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入する等、生徒にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述する。 評価の観点については、中学校学習指導要領等に示す総合的な学習の時間の目標を踏まえ、各学校において具体的に定めた目標、内容に基づいて定める。												
理科	知識・技能																			
	思考・判断・表現																			
	主体的に学習に取り組む態度																			
	評定																			
音楽	知識・技能																			
	思考・判断・表現																			
	主体的に学習に取り組む態度																			
	評定																			
美術	知識・技能																			
	思考・判断・表現																			
	主体的に学習に取り組む態度																			
	評定																			
保健体育	知識・技能																			
	思考・判断・表現																			
	主体的に学習に取り組む態度																			
	評定																			
技術・家庭	知識・技能																			
	思考・判断・表現																			
	主体的に学習に取り組む態度																			
	評定																			
外国語	知識・技能																			
	思考・判断・表現																			
	主体的に学習に取り組む態度																			
	評定																			
特別活動の記録																				
	内容	観点	学年			1	2	3												
	学級活動	(例) よりよい生活を築くための知識・技能				○				○										
	生徒会活動	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現					○													
	学校行事	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度					○			○										

生徒氏名

宮崎 太郎

行 動 の 記 録

項目	学 年			項目	学 年		
	1	2	3		1	2	3
基本的な生活習慣	○		○	思いやり・協力			○
健康・体力の向上	○	○	○	【行動の記録】 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動やその他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動について、設置者は中学校学習指導要領等の総則及び道徳科の目標や内容、内容の取扱いで重点化を図ることとしている事項等を踏まえて項目を適切に設定する。また、各学校において、自らの教育目標に沿って項目を追加できるようにする。 各学校における評価に当たっては、各項目の趣旨に照らして十分満足できる状況であると判断される場合に○印を記入する。			
自主・自律							
責任感			○				
創意工夫							

総 合 所 見 及 び 指 導

第1学年	<p>【総合所見及び指導上参考となる諸事項】 中学校における総合所見及び指導上参考となる諸事項については、生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、以下の項目を参考に、特記すべき内容について、箇条書き等により端的に記述し、必要最小限にとどめる。(全ての項目について記載しなければならないものではない。)</p> <p>また、記入に際しては、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを取り上げることに留意する。ただし、生徒の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記入する。なお、食物アレルギー等生徒の成長に関わる状況や通級指導の記録など、確実に引き継がなければならない内容については、必ず明記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習及び行動の様子 ・ 特別活動に関する事実 ・ 学校内外におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動 ・ 生徒の特徴・特技 ・ 表彰を受けた行為や活動 ・ 通級による指導の状況（学校名、指導期間等） ・ その他指導上参考となる諸事項 等
第2学年	<p>【出欠の記録】</p> <p>① 授業日数…生徒の属する学年について授業を実施した年間の総日数を記入する。 臨時に、学校の全部又は学年の全部の休業を行うこととした日数は授業日数には含まない。この授業日数は、原則として、同一学年のすべての生徒につき同日数とすることが適当である。ただし、転学又は退学等をした生徒については、転学のため学校を去った日又は退学等をした日までの授業日数を記入し、転入学又は編入学等をした生徒については、転入学又は編入学等をした日以後の授業日数を記入する。</p> <p>② 出席停止・忌引等の日数…以下の日数を合算して記入する。 学校教育法及び学校保健安全法による出席停止日数、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による入院の場合の日数、臨時に学年の中の一部の休業を行った場合の日数、忌引日数、非常震災等生徒又は保護者の責任に帰すことのできない事由で欠席した場合などで、校長が出席しなくてもよいと認めた日数、その他教育上特に必要な場合で、校長が出席しなくてもよいと認めた日数。</p> <p>③ 出席しなければならない日数…授業日数から出席停止・忌引等の日数を差し引いた日数を記入する。</p> <p>④ 欠席日数…出席しなければならない日数のうち病気又はその他の事故で生徒が欠席した日数を記入する。</p> <p>⑤ 出席日数…出席しなければならない日数から欠席日数を差し引いた日数を記入する。 なお、学校の教育活動の一環として生徒が運動や文化などにかかわる行事等に参加したものと校長が認める場合には、指導要録の出欠の記録においては出席扱いとすることができる。 不登校の生徒が適応指導教室等学校外の施設において相談・指導を受け、又は自宅においてIT等を活用した学習活動を行ったとき、そのことが当該生徒の学校復帰のために適切であると校長が認める場合には、指導要録の出欠の記録においては出席扱いとすることができる。この場合には、出席日数の内数として出席扱いとした日数並びに生徒が通所若しくは入所した学校外の施設名又は自宅においてIT等を活用した学習活動によることを記入する。</p> <p>⑥ 備考…出席停止・忌引等の日数に関する特記事項、欠席理由の主なもの、遅刻、早退等の状況その他の出欠に関する特記事項等を記入する。</p>
第3学年	

出 欠 の 記 録

区分	授業日数	出席停止・ 忌引等の日数	出席しなければ ならない日数	欠席日数	出席日数	備 考
1 学年	196	3	193	2	191	忌引3(祖父死亡3)、欠席は病気1(風邪1)、事故欠1(旅行1)
2	例えば、授業日数が年間計画では200日であったが、学校の全部又は学年の全部が、4日間臨時休業となった場合には、授業日数は196日となる。なお、この場合の備考欄は記入しない。					
3						

